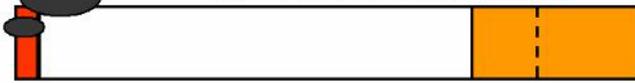


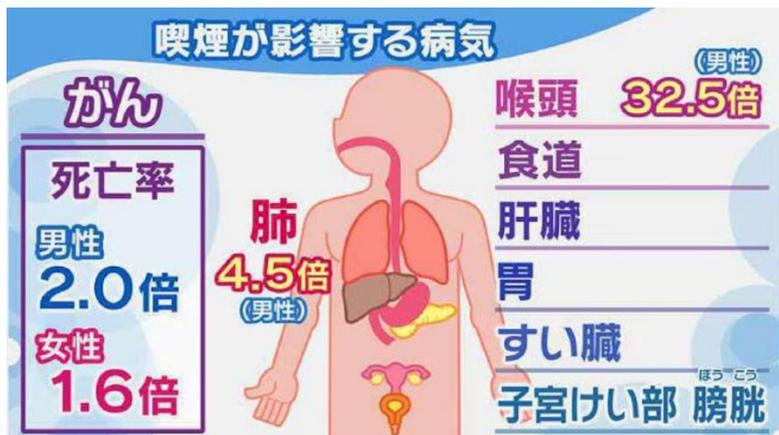
喫煙は有害物質を吸い込む行為

約4000種類の化学物質
約200種類の有害物質
(ニコチン、活性酸素、一酸化炭素)
約60種類の発癌物質

※タバコは「毒の缶詰」



日本生活習慣病予防協会 HP から



NHK 健康チャンネルから

新入生の皆さん、ようこそ和工へ。これからは高校生として自覚と責任を持って生活ができるよう、少しずつ頑張ってください。上級生の皆さんも一つ学年があがった分、さらにしっかり自覚を持って後輩に良い手本を示せるよう心がけて欲しいと思います。

さて、新年度も皆さんの健康な将来のためにタバコの有害性を毎週少しずつ勉強してもらいます。

タバコには4000種類もの化学物質が含まれていて、その中には発がん物質や多くの有害物質が入っているの、まるで「毒の缶詰」なのです。

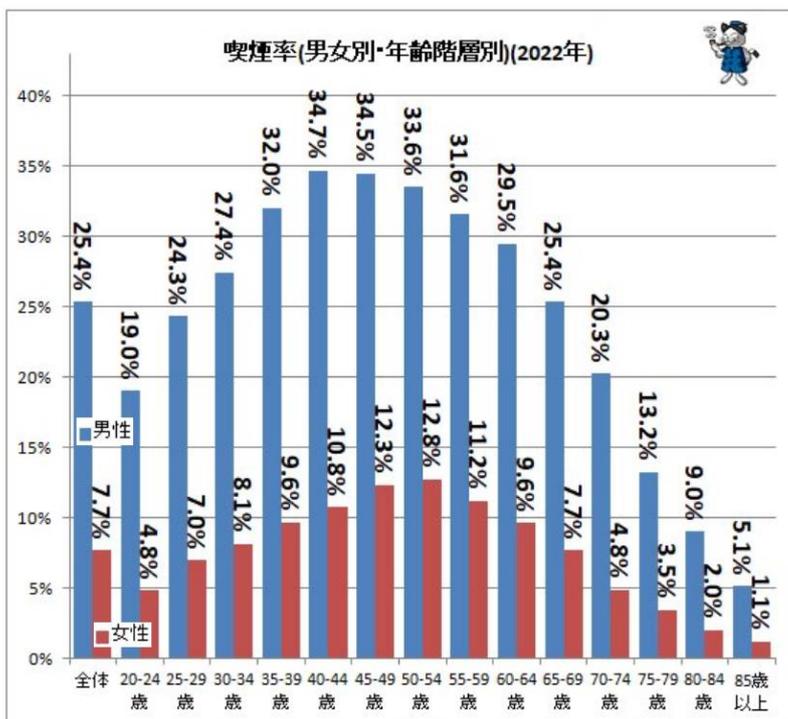
そんなものを吸い続けていては、身体に良いはずがありません。左図のように、喫煙を続けるとがんになる確率が高くなり死亡率も2倍近くになることがわかっています。

それなのに、下のグラフを見てください。日本では男性の25%、女性の7%の人がタバコを吸い続けています。つまり大人が10人集まれば、その内2~3人は喫煙者なのです。

喫煙者は、病気になり死亡率も高くなる事を覚悟のうえでタバコを吸い続けているのでしょうか。それとも、そんな事は知らないのでしょうか。そして、吸い続けるメリットはあるのでしょうか。

これから、少しずつ勉強しましょう。

産業デザイン科 奥田恭久



ガバージュースから